

ISSN 1341-7010

令和 6 年 度

# 群馬県畜産試験場業務年報

Gunma Prefectural Livestock  
Experiment Station

群馬県畜産試験場

(群馬県前橋市富士見町小暮 2425)



# 令和6年度 群馬県畜産試験場業務年報

## 目次

I 総説	
1 沿革	1
2 組織機構と所掌業務	2
II 研究業務の概要	
1 研究成果の概要	3
2 令和6年度主要課題	7
(1) 国庫等助成課題（受託を含む）	7
(2) 県単新規試験研究課題	7
3 令和7年度試験研究課題の設定	8
(1) 試験研究課題設定の経過	8
(2) 群馬県農業技術推進会議・専門部会（畜産）開催内容	9
(3) 研究課題外部評価会	9
4 研究に係る会議	10
III 研究成果の発表・伝達	
1 書籍・雑誌等による技術解説	12
2 マスコミ発表	12
3 学会発表	12
4 研究成果発表会	12
5 ぐんま農業新技術および技術情報資料	13
(1) ぐんま農業新技術	13
(2) 技術情報資料	13
6 フォローアップセミナー	13
7 表彰	13
IV 職員研修	
1 農政部試験研究機関職員研修	14
2 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構依頼研究員	14
3 中央畜産技術研修	14
4 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構短期集合研修	14
5 農林水産技術会議事務局主催研修	14
6 その他研修	15
(1) 一般研修	15
(2) 安全管理・技能講習	15
(3) 技術研修	15
(4) 場内研修等	17

V	業務実績等	
1	検査実績	1 8
	(1) 飼料分析	1 8
	(2) 牛受精卵雌雄判別	1 8
2	飼養頭羽数及び配布・売払及び生産状況	1 8
	(1) 飼養頭羽数	1 8
	(2) 配布・売払及び生産状況	1 8
	(3) 市町村別配布状況	1 9
3	種畜名簿	2 0
	(1) 繁殖基礎牛	2 0
	(2) 優良導入牛	2 1
	(3) 人工授精所繫養種雄豚	2 2
VI	附帯業務	
1	講習会等への職員派遣	2 3
	(1) 家畜人工授精師養成講習会（牛）	2 3
	(2) 家畜商講習会	2 3
	(3) 全国食肉学校講義	2 3
	(4) 出前なんでも講座	2 3
	(5) その他の技術指導	2 4
2	会議出席	2 6
3	技術相談・依頼診断及び審査	2 9
4	視察及び見学	2 9
	(1) 国内	2 9
	(2) 国外	2 9
5	研究生・研修生	2 9
	(1) 農業関係試験研究機関技術研修員	2 9
	(2) 実務実習生（インターンシップ）	2 9
VII	庶務及び施設整備	
1	職員	3 0
	(1) 職員名簿	3 0
	(2) 令和5年度末転出職員	3 1
	(3) 令和6年度転入職員	3 1
	(4) 令和6年度採用職員	3 1
	(5) 令和6年度退職者	3 1
2	収入及び決算	3 2
	(1) 収入	3 2
	(2) 決算	3 3
3	土地及び建物	3 4
4	施設整備及び主要備品	3 4
	(1) 施設整備	3 4
	(2) 主要備品	3 5
VIII	その他	
1	気象表	3 6

# I 総 説

## 1 沿革

- 明治 28年 (1895) 前橋市岩神町に群馬県農事試験場設立。
- 31年 (1898) 農事試験場で家畜の飼育を開始。
- 34年 (1901) 農事試験場を前橋市南町(旧前代田町)に移転。
- 38年 (1905) 農事試験場畜産部発足。
- 41年 (1908) 優良種豚、鶏を導入、農家払い下げを開始。
- 大正 9年 4月(1920) 農事試験場畜産部の事業を継承し、群馬県種畜場として独立。種牡牛馬の購入貸付業務と試験研究に着手。
- 11年 (1922) 種畜場の移転先として、現在地、勢多郡富士見村大字小暮所在の国有林77ヘクタールの払い下げを受け、開墾と施設の建設に着手。
- 12年 11月(1923) 主な施設の建設、移転完了し、牛、馬、山羊の飼養、改良増殖、配布並びに技術指導等、種畜場として本格的に事業を開始。
- 13年 (1924) 一方、前橋市岩神町に豚、鶏業務を主とする種畜場分場を設置。
- 14年 (1925) 有畜農業奨励のため、本場に種畜場附属模範農家を設置。
- 昭和 5年 (1930) めん羊に関する業務を開始。
- 12年 (1937) 兎に関する業務を開始。
- 19年 3月(1944) 本場に分場業務(豚、鶏)を統合し、名実ともに総合種畜場として内容を充実。
- 32年 9月(1957) 附属農家制度を解消し、当該農家は自立。
- 37年 4月(1962) 新しい畜産技術の要請にこたえるため、種畜場を畜産試験場と改称し内部組織を庶務課、大家畜課、中家畜課、小家畜課、飼料課、衛生課の6課制として畜産に関する試験研究と家畜改良繁殖を主な業務として事業を開始。
- 39年 (1964) 畜産後継者および指導者の養成のため、畜産研修所を設置。
- 41年 (1966) 本館をはじめ試験研究施設の建設、近代的機械器具の導入等をはじめ研究内容を充実。
- 45年 8月(1970) 畜産の急速な発展に即応し組織改正を行い、飼養部、環境部、庶務課、酪農肉牛課、養豚課、養鶏課、飼料課、環境課、衛生課の2部7課制とし、環境課を新設した。
- 54年 (1979) 研究の整備強化と効率化を図るため、総合実験室を建設。
- 55年 4月(1980) 事務部が新設され、事務部、飼養部、環境部、庶務課、酪農肉牛課、養豚課、養鶏課、飼料課、環境課、衛生課の3部7課制となる。
- 58年 4月(1983) 農政部5専門試験場の組織体制が改編され、畜産試験場も農業総合試験場体制のもとに組織改正され、大家畜部、中小家畜部、酪農課、肉牛課、飼料課、養豚課、養鶏課の2部5課制となり、環境課が農業総合試験場に統轄され畜産分室となる。
- 平成元年 4月(1989) 組織改正により受精卵移植課及び吾妻肉牛分場が新設され、大家畜部、中小家畜部、酪農課、肉牛課、飼料課、養豚課、養鶏課の2部6課1分場となる。
- 6年 4月(1994) 農業総合試験場体制が改変され群馬県畜産試験場として独立、事務部、大家畜部、小家畜部、環境飼料部、総務課、酪農肉牛課、繁殖技術課、養豚養鶏課、改良技術課環境課、飼料課、吾妻肉牛分場の4部7課1分場となる。
- 11年 10月(1999) 畜試再編整備計画により本館・総合実験棟並びに畜舎の建築に着手した。  
(2000)本館総合実験棟、養豚研究エリア施設、堆肥舎、乾燥施設完成。(2001)養鶏 研究エリア施設、研修棟、繋留舎完成。(2002)大家畜研究エリアの酪農関係・牛受精卵関係施設完成と、汚水処理施設が稼働開始。
- 15年 4月(2003) 組織改正により部課制から、総務、地域共同開発、牛飼養技術、豚飼養技術、鶏飼養技術、生物学、自給飼料、畜産環境の8グループと吾妻肉牛繁殖センター体制となる。乾草収納庫、庇陰舎、肉牛舎、敷料置場、農機具格納庫、給油施設、ふん尿処理実験棟、吾妻肉牛繁殖センターに恒久水源用深井戸完成。
- 16年 (2004) 飼料作物棟、風洞実験棟完成、酪農エリア・ふん尿処理研究エリアの舗装完成。
- 17年 4月(2005) 組織改正により、総務、地域共同開発、大家畜研究、中小家畜研究、資源循環研究の5グループと吾妻肉牛繁殖センターに改編される。隔離畜舎完成。
- 18年 (2006) 本館エリア、供卵牛舎・受精卵採取棟エリア、肉牛舎エリアの外構完成。中小家畜研究エリア防疫対策構築。
- 19年 4月(2007) 組織改正により、地域共同開発グループを廃止して研究調整官を設置し、総務、大

家畜研究、中小家畜研究、資源循環研究の4グループと吾妻肉牛繁殖センターに改編される。格納庫外構完成。

20年4月(2008) 組織改正により、総務、大家畜、中小家畜、資源循環の4係と吾妻肉牛繁殖センターに改編される。村道付け替え、旧大家畜エリア跡地整地終了。

21年5月(2009) 合併により、所在地が前橋市富士見町小暮に変更。

26年4月(2014) 組織改正により、総務、飼料環境、酪農、肉牛、養豚、養鶏の6係と吾妻肉牛繁殖センターに改編。

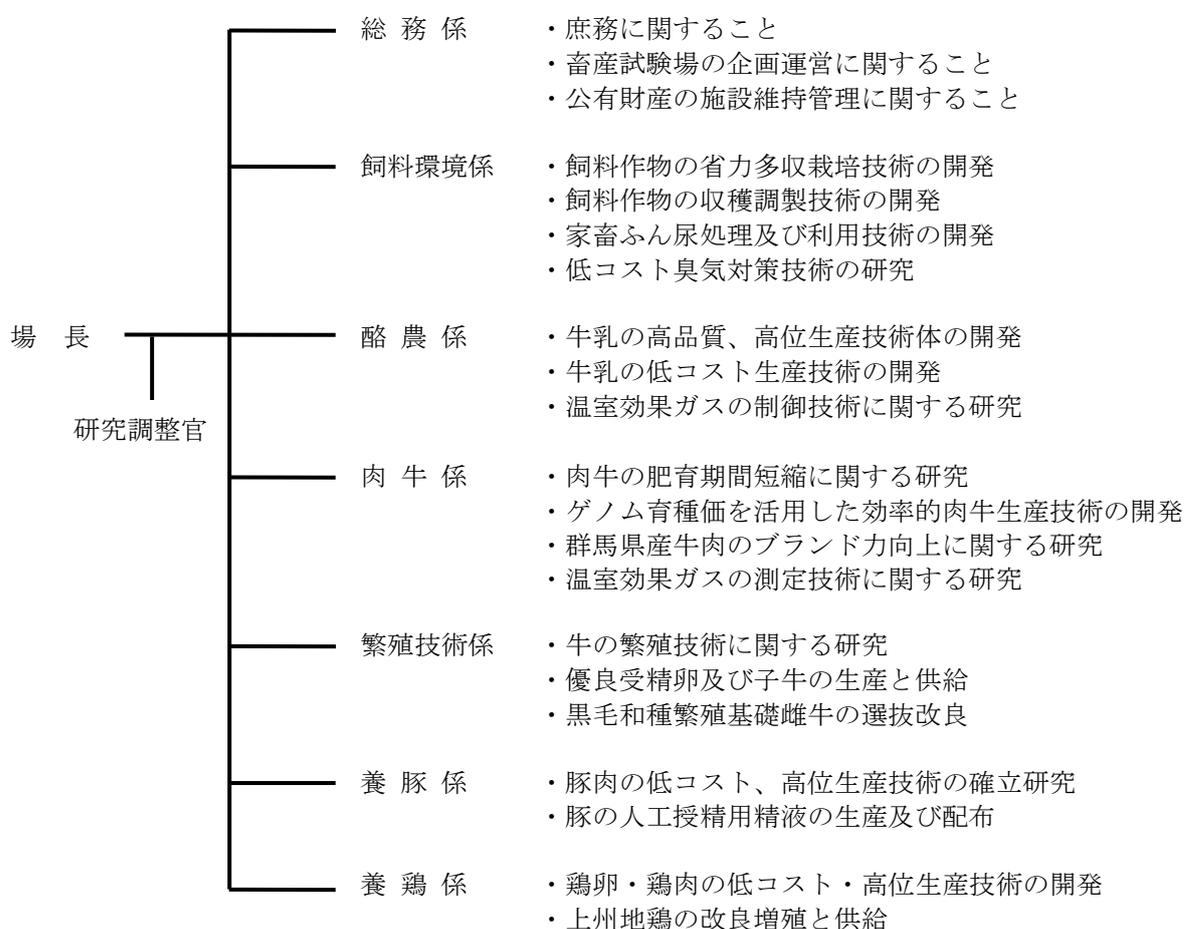
令和3年3月(2021) 搾乳牛舎改修工事完成。

4年2月(2022) 育成牛舎完成。

4年4月(2022) 組織改正により、吾妻肉牛繁殖センターを廃止し、総務、飼料環境、酪農、肉牛、繁殖技術、養豚、養鶏の7係に改編。

4年5月(2022) 黒毛和種繁殖育成牛舎完成。

## 2 組織機構と所掌業務



### 所在地

区分	郵便番号	住所	電話およびFAX
畜産試験場	371-0103	前橋市富士見町小暮2425	TEL 027-288-2222 FAX 027-288-2243

ホームページ <https://www.pref.gunma.jp> (県庁トップページ)

Eメールアドレス [chikushi@pref.gunma.lg.jp](mailto:chikushi@pref.gunma.lg.jp) (代表アドレス)

## II 研究業務の概要

### 1 研究成果の概要

#### (1) 飼料作物（トウモロコシ）奨励品種決定調査（県単・各年度）

12 品種供試し、5/17 日に播種した。以下、各早晚性ごとに比較する。

極早生は 4 品種供試し、乾物収量は 1630～1858kg/10a となり、タラニスの収量が最も多かった。早生は 2 品種供試し、同収量は KD502 が 1583kg/10a、34N84 が 1903kg/10a となった。中生品種は 3 品種供試し、同収量は 1664～2173kg/10a となり、P1344 が最も多かった。晩生品種は 3 品種供試し、同収量は 2343～2801kg/10a となり、ガプロンが最も多かった。

虫害については例年よりは少なかった。ごま葉枯病及びすす紋病はほぼ全ての品種で確認され、黒穂病は昨年度より発生個体が増加した。

試験結果より、P9027、タラニス、KD460 を新たに奨励品種とした。また、奨励品種の改定により、8 品種が廃止され、奨励品種は計 15 品種となった。

なお、生育期間において、6 月下旬から 8 月中旬にかけての降水量が少なかったが、8 月下旬は平年の 2 倍と降水量が多かった。

（飼料環境係）

#### (2) 高タンパク質自給粗飼料の生産・調製技術の開発（県単：令和 5～7 年）

群馬県内におけるアルファルファの栽培特性、収量等を明らかにするとともに、収穫時期、調製方法についても検討を行った。

供試品種はケレスとし、収穫方法はモアコンディショナで刈り取り、反転はせずにそのまま予乾した。ロール調整時には、2 種類の乳酸菌添加剤（ホモ型とヘテロ型）を使用した。

調整後のサイレージの発酵品質は、180 日時点ではヘテロ型は V-score が 81 点に減少、ホモ型が 80 点で両試験区とも発酵品質で「良」を維持していたが、365 日ではホモ型・ヘテロ型ともに 43 点まで減少し、発酵品質は「不良」となった。

収量調査は生育期、着蕾期、開花期の 3 ステー

ジで行い、1 番草の乾物収量はそれぞれ 297kg/10a、352kg/10a、414kg/10a と生育が進むにつれ多くなった。飼料成分は、CP は生育が進むにつれ有意に減少し、NDF 及び ADF は生育が進むにつれ有意に増加した。

1 番草の雑草率は 67.8%となったが、再生が良好で 2 番草以降の雑草率は 2%以下に減少した。

（飼料環境係）

#### (3) 化成肥料を低減した子実トウモロコシ栽培技術の確立（県単：令和 5～7 年）

堆肥中の窒素成分を化学肥料の代替として利用することで、化学肥料を低減した子実トウモロコシの栽培技術を確立するための試験を行った。

供試堆肥は当場で生産された牛ふん堆肥及び豚・鶏ふん混合堆肥を用いて、リン酸およびカリウムの代替試験を行った。試験での堆肥の代替割合は、両堆肥とも 100%及び 50%代替とし反復試験を継続中。

（飼料環境係）

#### (4) 畜産排水における高分子凝集剤の生分解性物質への転換とその効果検証（県単：令和 5～7 年）

生分解性凝集剤を使用して脱水した汚泥の性状を調査し、現在使用している高分子凝集剤と比較し、その有効性を検討した。なお、高分子凝集剤はポリアクリル系、比較凝集剤としてキトサン由来とポリグルタミン酸由来の 2 種類を用いた。

ポリアクリル系凝集剤（PA）の脱水性能は低滴下量では低く、7.5ml/L 以上の範囲で脱水性能が高くなった。キトサン由来凝集剤（CH）は 5ml/L から凝集効果が見られたが 10ml/L から徐々に脱水ができなくなった。ポリグルタミン酸由来凝集剤（PG）は粉末剤であるため投入量が異なるが、1g/L から凝集は目視できないものの、高い脱水性能がみられ、10g/L まで高く安定した脱水性能を発揮した。

先行試験の論文を参考にキトサン区に無機凝集作用のある鉱石のカオリン鉱石を添加したところ、最大 10%以上の水分率低下が確認され、キトサン由来凝集剤の脱水可能滴下量の範囲も広がることが確認された。

コスト計算の結果、汚水 1 m<sup>3</sup>当たりの凝集剤コストは PA で 29 円から 46 円で最も低くなり、CH

は 125 円から 188 円と約 4 倍程度であった。PG は人間の飲用水向けの凝集剤であることもあり、1,500 円と高くなった。カオリン鉱石を添加した場合、CH5m1+カオリン 4g/L の区で 925 円となった。

(飼料環境係)

#### (5) 肥料の国内循環利用システムの構築

(国庫：令 5～7 年) (SPI)

国立研究開発法人産業技術総合研究所が開発したプルシアンブルー類似錯体を用い、畜産堆肥化装置等の産業排気ガスより出るアンモニアガスを回収、肥料成分として利用する技術を開発中。

(飼料環境係)

#### (6) ロボット搾乳施設と連動した精密個体管理システムによる省力管理技術の開発・実証

(県単：令 3～6 年)

ロボット搾乳と精密個体管理システムを活用し、省力管理技術の開発・実証を行う。搾乳時に生乳成分を計測し、疾病の兆候や繁殖に関するホルモン分泌を分析。更にカメラを用いて牛体の脂肪蓄積度合(ボディコンディションスコア：BCS)を測定し、これらのデータを蓄積して検証を実施中である。

(酪農係)

#### (7) 畜産からの GHG 排出削減のための技術開発(委託プロ・令 4～8 年)

スニファー法を用いて、慣行試料を給与した当該飼養乳牛のメタン産生量を延べ 294 頭(7 月：143 頭、2 月：151 頭)測定した。また、県内搾乳ロボット導入農場においてのメタン産生量調査を 2 回実施した(延べ 143 頭)。

肉用牛では、個体識別ドア(ドアフィーダ：(株)オリオン社製)で個別給餌している個体において、ガス流路切替器を用いて延べ 22 頭(11 頭×2 回)ガス採取を行った。

また、当該飼養の乳牛で温室効果ガス削減資材を給与し、スニファー法の評価を行った。

(酪農係・肉牛係)

#### (8) 牛乳房炎発症予防法と抗病性育種の開発事業(JRA：令 5～7 年)

プロバイオティクス飼料の免疫能向上機能を活用し、乳牛の乳房炎発症と薬剤耐性菌の発生を抑制するとともに、宿主側の抗病性を向上させる飼養管理手法を開発する。

前回事業で枯草菌が乳房炎発症軽減効果を有することを確認できたので、新たな免疫促進剤として選定したビタミン E 及びグルタミン酸の効果の確認と、枯草菌との相加効果を見るために、ビタミン E 給与区：1 頭、枯草菌+ビタミン E 給与区：2 頭、グルタミン酸給与区：3 頭、枯草菌+グルタミン酸給与区：2 頭を用いて給与試験を行った。

(酪農係)

#### (9) 子宮内環境の改善による受胎率の向上

(県単・令 3～6 年)

牛の空胎日数は延長しており恒常的に受胎成績の向上が求められている。その要因として子宮内膜のミトコンドリアの機能低下が考えられる。そこでミトコンドリア機能を改善する作用があるレスベラトロールを発情発見した当日、または翌日に子宮内に投与し胚移植を行なったところ、受胎率は 37.0%となり非投与の 28.6%より有意差は認められないものが高くなった。

(繁殖技術係)

#### (10) 妊孕性復元の牛繁殖性向上検証(JRA 事業委託試験・令 6 年度)

子宮内膜の老化細胞を除去するために、分娩後早期に正常細胞の生存に影響を及ぼさない濃度のセノリティクス薬剤を投与し受精卵移植を実施したところ、良好な成績が得られた。

(繁殖技術係)

#### (11) 繁殖基礎牛群の育種価を用いた選抜・改良(県単・各年度)

アニマルモデルによる繁殖基礎牛の育種価を推定するため、県内等の肥育農家で生産子牛の後代検定を実施した(肥育開始頭数：5 年度 4 頭、5 年度 5 頭)。

肥育終了後に得られた枝肉成績と血縁情報等を基に選抜・改良を行い、令和 7 年 3 月末現在、飼

養する基礎牛(経産)84頭のうち、51頭の育種価が判明した。

また、平成26年度から全国に先駆け、(一社)家畜改良事業団と共同でゲノミック評価を用いた育種改良に取り組んでおり、28年度には全国で初めて高ゲノミック評価の雄を候補種雄牛として払下げた。現在までに22頭払下げを行い、これまでに福華鶴、福之鶴、福増鶴、福勝鶴、千寿剣が種雄牛として選抜されているが、今年度新たに鶴姫重が種雄牛として選抜された。引き続き、諒仙柳、愛重鶴、美国鶴、貴隼鶴が検定中である。

(繁殖技術係)

#### (12) 牛受精卵推進(県単・各年度)

枝肉成績と血縁情報等を基に算出された育種価と、ゲノム情報を基に算出されたゲノミック評価を用いて選抜・改良を行った繁殖基礎牛の中で、特に能力の高い牛から受精卵を生産し、スーパー黒毛和種受精卵122個、黒毛和種受精卵165個の計287個を県内農家に供給するとともに、全共対策卵として高ゲノミック雌牛の受精卵118個を供給した。

(繁殖技術係)

#### (13) 哺乳ロボットを活用した効率的哺乳管理技術の確立(県単・令5~7年)

哺乳期における発育低下はその後の育成期および肥育期の発育に大きく影響することから、哺乳能力、ミルク濃度等、個体の能力に合った適切な飼養管理が重要である。哺乳能力と遺伝的能力および発育を関連づけたデータ集積はこれまでにないことから、ゲノミック評価を実施し、個体の能力を把握した上でその能力に応じた哺乳方法を確立する。

(繁殖技術係)

#### (14) 黒毛和種去勢牛への高エネルギー飼料給与による効率的肥育技術の開発(県単・交付金・令3~7年)

育成期の発育が低い牛に高エネルギー飼料(脂肪酸カルシウム)を添加給与することにより発育改善を図り、肥育期間の短縮を可能にする効率的な肥育技術を開発する。当該生産の黒毛和種去勢牛10頭を用い、試験開始前にゲノミック評価によ

る遺伝的能力評価を実施し、個体の特徴を把握した上で育成試験及び肥育試験を実施している。

(肉牛係)

#### (15) ぐんまの牛肉「新基準」の確立(県単・交付金・令6~8年)

群馬県産牛肉のブランド力向上に資するため、脂肪質および新細かさ指数、あらさ指数等の計測を行い、黒毛和種改良の新たな指標として基準作成に取り組む。令和6年度は枝肉共進会出品牛を中心に脂肪質301頭、脂肪交雑等460頭の測定を行った。令和7年度以降データ集積、評価を継続する。

(肉牛係)

#### (16) 豚の改良推進(県単・各年度)

遺伝的能力評価では、県内種豚生産者から雄候補豚3頭を導入し直接検定を実施した。豚の人工授精推進では、県内外からの導入豚及び場内育成した優良種雄豚14頭を人工授精所に繋養し、県内生産者27戸に精液939本(L262、W259、D418(うち混合368))を配布して種豚および肉豚の改良を図った。

(養豚係)

#### (17) 「動物用食べるワクチン」の開発による感染症対策の強化(委託プロ・令4~7年)

畜産現場での労働者不足やワンヘルスの観点から、今後需要の伸びが期待される動物用医薬品・機能性飼料を対象とし、遺伝子組換えカイコの繭を用いた新たな経口ドラッグデリバリーの基盤技術を確立する。

令和6年度は繭細断物を離乳子豚に経口投与する際の飼料中の混合割合について検討し、約4%が上限であることを確認した。これにより、繭の経口ワクチンとして有効な効率的投与方法を明らかにするための基礎となる知見が得られた。さらに、離乳子豚に繭細断物を飼料中4%、1%、無添加の3水準で給与し、抗体産生状況を確認した。また、サルモネラ鞭毛抗原発現繭を離乳子豚に給与し、抗体産生状況を確認した。

(養豚係)

#### (18) 上州地鶏の改良推進(県単・各年度)

上州地鶏の中ビナを30,350羽(内、初生ヒナ

2,550羽) 払下げた。上州地鶏を中ヒナで供給することで、生産農場の飼育サイクルが短くなり、収益増に寄与できる。また、初生ヒナに比較し温度管理が容易であり、地鶏の普及促進において有効な手段だと考えられた。

(養鶏係)

#### (19) 採卵鶏の長期飼育における能力比較試験 (県単・令6～10年)

県内に流通している採卵鶏11銘柄について、505～700日齢の生産性や鶏卵品質など鶏種の能力および特性について調査した。

その結果、72週齢で9鶏種が採卵個数340以上であったことから、これらの鶏種については、100週齢時に500個以上の採卵個数が期待できる。

(養鶏係)

#### (20) 鶏の経済能力検定(県単・各年度)

県内に流通している採卵鶏11銘柄について、餌付けから504日間の経済能力を調査した。

生産者の実情に合わせて評価を行うため、市販の配合飼料により試験を実施した。その結果、鶏種による違いが明らかとなった。

(養鶏係)

#### (21) 上州地鶏の効率的なヒナ生産技術に関する 研究(県単・技術開発促進[公募型]・令和6年)

高品質なヒナの供給を開発することを目的に、飼料添加用および飲水用生菌製剤を上州地鶏へ給与し、その効果を評価した。

その結果、糞の性状が安定したことから、地鶏を安定的に生産する有効な手段であると考えられた。

(養鶏係)

## 2 令和6年度主要課題

### (1) 国庫等助成課題

区 分	予算額(助成額)	備考
畜産からのGHG排出削減のための技術開発	千円 2,500(2,500)	国委託プロジェクト
「動物用食べるワクチン」の開発による感染症対策の強化	1,600(1,600)	国委託プロジェクト
牛乳房炎発症予防法と抗病性育種の開発事業	2,000(2,000)	JRA 事業
肥料の国内循環利用システム構築	2,300(2,300)	SIP

### (2) 県単新規試験研究課題

課 題 名	試験期間	担 当

### 3 令和7年度試験研究課題の設定

#### (1) 試験研究課題設定の経過

時 期	畜産試験場	農業技術推進会議
4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点研究（シーズ型）課題化の検討</li> <li>新規研究（シーズ型）課題案の検討</li> </ul>	
5 月		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>ぐんま農業新技術の承認</li> </ul> <p style="text-align: center;">【本会議】</p> </div>
6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規研究（シーズ型）課題案の決定</li> </ul>	
7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業研究要望措置方針の検討</li> </ul>	
8 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規研究（ニーズ型）課題案の検討</li> </ul>	
9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業研究課題化検討会</li> <li>試験研究課題策定方針の検討</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業研究要望（ニーズ型）措置方針検討</li> <li>新規研究の課題化方針（案）の検討</li> <li>研究重点方針（案）の検討</li> </ul> <p style="text-align: center;">【専門部会】</p> </div>
10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験研究計画概要（案）の検討</li> </ul>	
11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究予算案の策定</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度試験研究推進に係る取り組み方針(案)及び基本方針(案)承認</li> <li>令和7年度新規研究課題化方針(案)承認</li> </ul> <p style="text-align: center;">【本会議】</p> </div>
12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験研究成績検討会</li> </ul>	
1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぐんま農業新技術・技術情報資料の検討</li> </ul>	
2 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験研究課題策定方針の決定</li> <li>試験研究計画概要の決定</li> </ul>	
3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規予定課題実施計画の検討</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>ぐんま農業新技術・技術情報資料の検討</li> <li>令和7年度試験研究計画概要の検討</li> <li>試験研究進行管理表の検討</li> </ul> <p style="text-align: center;">【専門部会】</p> </div>

(2) 群馬県農業技術推進会議・専門部会（畜産）開催内容

開催日	主な協議事項
<p>第1回 6. 9. 24</p>	<p>1 令和6年度試験研究要望事項の措置方針（案）について                  2 令和6年度完了予定課題及び令和7年度新規研究課題（案）について                  完了(1) 子宮内環境の改善による受胎率向上（3～6）                  (2) 上州地鶏の効率的なヒナ生産技術に関する研究（6）                  延長(1) ロボット搾乳施設と連動した精密個体管理システムによる省力管理技術の開発実証（3～7）                  新規(1) 抗菌剤使用の適正化と周産期乳房炎予防の両立を実現する選択的乾乳期治療技術の構築（7～9）                  (2) 伸長胚移植技術の実用化（7～9）                  (3) アミノ酸バランス改善飼料による温室効果ガス削減マニュアルの作成（7～8）                  3 令和7年度研究重点方針（案）について                  (1) 畜産試験場研究重点方針                  (2) 試験研究の方向と主要研究課題等                  4 ぐんま農業新技術の普及・活用状況に係る対応策（案）について                  5 実験動物実施規程に基づく実施状況及び実施計画の評価について</p>
<p>第2回 7. 3. 18</p>	<p>1 令和7年度ぐんま農業新技術（案）、技術情報資料（案）について                  ぐんま農業新技術                  (1) Brix測定による鶏卵品質および採卵鶏の評価                  技術情報資料                  (1) 高タンパク質自給粗飼料の生産・調製技術                  (2) キトサンを原料とした凝集剤における畜産排水汚泥の脱水                  (3) 泌乳牛へのオオムギソフトグレインサイレージの給与                  (4) 黒毛和種去勢牛への脂肪酸カルシウム製剤給与                  (5) レスベラトロール投与による受胎率改善                  (6) 気候変動による温暖化に適応性の高い鶏種                  2 令和6年度研究課題進行管理表（案）について                  3 令和7年度研究課題一覧（案）について</p>

(3) 研究課題外部評価会

開催日	課題名及び評価委員

#### 4 研究に係る会議

会 議 名	開 催	参 集 範 囲	場 所
日本中央競馬会畜産振興事業 令和6年度第1回「妊孕性復元による 牛繁殖性改善技術開発事業」推進会議	6. 5. 15	事業参画機関	岡山大学
農林水産省委託プロジェクト研究「畜 産からのGHG排出削減のための技術 開発」小課題1推進会議	6. 5. 30	畜産GHG削減コンソーシアム参画機関	Web 開催
農林水産省委託プロジェクト研究「畜 産からのGHG排出削減のための技術 開発」ガス講習会	6. 6. 6	畜産GHG削減コンソーシアム参画機関	Web 開催
研究開発と Society 5.0 との橋渡し プログラム(BRIDGE)キックオフ会議 「動物用食べるワクチン」の開発による 感染症対策の強化	6. 6. 20	動物用食べるワクチンコンソーシアム参画機関	Web 開催
豚の新育種技術に関する研究会 「豚の閉鎖群育種試験に関する検討会	6. 7. 11 ～7. 12	農水省、東北大学、(国研)農研機構、(独)家畜 改良センター、関係都道府県、日本養豚協会、 民間豚育種会社等	茨城県
農林水産省委託プロジェクト研究「畜 産からのGHG排出削減のための技術 開発」小課題1推進会議(肉牛・乳牛)	6. 7. 29	畜産GHG削減コンソーシアム参画機関	Web 開催
農林水産省委託プロジェクト研究「畜 産からのGHG排出削減のための技術 開発」小課題1肉牛における低メタン 牛育種技術検討会議	6. 8. 7	畜産GHG削減コンソーシアム参画機関	東京都
戦略的イノベーションプログラム(SIP)第3期 「持続可能なフードチェーンの構築」 サイトビジット	6. 8. 19	内閣府、農林水産省、農研機構、肥料の国 内循環システムの構築コンソーシアム参画 機関	当 場
関東東山畜産関係場所長会本会議	6. 9. 12	関東東山畜産関係試験研究機関	高崎市
農林水産省委託プロジェクト研究「畜 産からのGHG排出削減のための技術 開発」肉牛呼吸測定打合せ	6. 10. 1	畜産GHG削減コンソーシアム参画機関	Web 開催
関東東山畜産関係場所長会分野別担 当者会議(環境)	6. 10. 3	関係各都県、畜産研究部門	東京都
関東東山畜産関係場所長会分野別担 当者会議(飼料作)	6. 10. 25	関係各都県、畜産研究部門	Web 開催

会 議 名	開 催	参 集 範 囲	場 所
研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム(BRIDGE)成果検討会 「動物用食べるワクチン」の開発による感染症対策の強化	6. 11. 5	動物用食べるワクチンコンソーシアム参画機関	Web 開催
日本中央競馬会畜産振興事業 「牛乳房炎発症予防法と抗病性育種開発事業」第 4 回実証試験担当者会議	6. 11. 7	事業参画機関	Web 開催
令和 6 年度関東東海北陸農業試験研究推進会議畜産草地部会	6. 11. 12	関係各都県	Web 開催
日本中央競馬会畜産振興事業 「牛乳房炎発症予防法と抗病性育種開発事業」令和 6 年度第 1 回開発推進評価会議	6. 11. 14	事業参画機関	Web 開催
第 27 回関東東山肉用牛試験研究連絡会議	6. 11. 19	関係各県	Web 開催
日本中央競馬会畜産振興事業 令和 6 年度「妊孕性復元による牛繁殖性改善技術開発事業」打合せ会議	7. 1. 17	事業参画機関	名古屋大学
関東東山畜産関係場所長会企画担当者会議	7. 1. 24	関係各都県	東京都
関東東山畜産関係場所長会分野別担当者会議（酪農）	7. 2. 26	関係各都県、畜産研究部門	書面開催
関東東山畜産関係場所長会分野別担当者会議（養豚）	7. 2. 27	関係各都県	Web 開催
新稲作研究会成績検討会	7. 3. 5	農水省、関係都道府県、関係機関	東京都
日本中央競馬会畜産振興事業 令和 6 年度第 2 回「妊孕性復元による牛繁殖性改善技術開発事業」推進会議	7. 3. 6	事業参画機関	岡山大学
日本中央競馬会畜産振興事業 「牛乳房炎発症予防法と抗病性育種開発事業」第 5 回実証試験担当者会議	7. 3. 10	事業参画機関	Web 開催
日本中央競馬会畜産振興事業 「牛乳房炎発症予防法と抗病性育種開発事業」令和 6 年度第 2 回開発推進評価会議	7. 3. 13	事業参画機関	Web 開催

### Ⅲ 研究成果の発表・伝達

#### 1 書籍・雑誌等による技術解説

部 門	著者名等	課 題 名	雑 誌 名 等
酪 農	都丸友久	乾乳牛における二条大麦わらの飼料利用	群馬県基金協会だより 令和6年7月 第89号

#### 2 マスコミ発表

部 門	タ イ ト ル	マスコミ名	日 付
酪 農	環境特集「牛のメタン排出量」	上毛新聞	6. 6. 1
酪 農	たちすずかWCSで全量置き換え可能 輸入乾草の代替として	開拓情報	6.11.15
繁 殖	種雄牛に「鶴姫重」選抜 総合評価歴代3位	日本農業新聞	7. 2. 4
繁 殖	種雄牛に本県2頭 県遺伝子評価で品質向上	上毛新聞	7. 2.27

#### 3 学会発表

氏名	タ イ ト ル	学会名	日 付

#### 4 研究成果発表会

期日：R7.2.19

場所：前橋合同庁舎

発表者	演 題 名
鹿沼由香里	黒毛和種去勢牛への脂肪酸カルシウム製剤給与
下田歩夢	レスベラトロール (Res) 投与における受胎率改善の検討
都丸友久	乳牛へのオオムギソフトグレインサイレージの給与 (第二報)
平林晴飛	組替え牛サイトカインによる牛乳房炎治療技術の開発
今西耕平	WCS用トウモロコシ奨励品種決定調査
今西耕平	アルファルファサイレージの品質向上方法の検討
藤澤 望	畜産排水処理における生分解性の高い高分子凝集剤への変更の検討
青木 圭	群馬県産飼料原料を主体とした豚肉生産 (第二報)
後藤美津夫	採卵鶏の育種改良の進展と高度に改良された採卵鶏の飼養管理

## 5 ぐんま農業新技術および技術情報資料(令和7年度農業技術推進会議本会議提出課題)

### (1) ぐんま農業新技術

技 術 名	担当係
Brix 測定による鶏卵品質および採卵鶏の評価	養鶏係

### (2) 技術情報資料

技 術 名	担当係
・キトサンを原料とした凝集剤における畜産排水汚泥の脱水	飼料環境係
・高タンパク質自給粗飼料の生産・調製技術	飼料環境係
・泌乳前期牛へのオオムギソフトグレインサイレージの給与	酪農係
・黒毛和種去勢牛への脂肪酸カルシウム製剤給与	肉牛係
・レスベラトロール投与による受胎率改善	繁殖技術係
・気候変動による温暖化に適応性の高い鶏種	養鶏係

## 6 フォローアップセミナー

技 術 名	実施場所 (対象者)	開催期日	参加者数

## 7 表彰

表 彰 名	受賞者	受賞内容	主催者
第 58 回優秀畜産技術者表彰	椿 由江	肉用牛肥育	(公社)畜産技術協会

## IV 職員研修

### 1 農政部試験研究機関職員研修

研修名	講師等	参加人員	研修会場	期日
わくわく統計研修（超初級編）	野菜花き課技術支援室 技術調整係 鵜生川雅己	3名	農業技術センター	6. 9. 2
全ての試験研究職員が知っておきたい知的財産のこと	農林水産省 輸出・国際局 知的財産課 知的財産戦略班 知的財産専門官 後藤大輔 野菜花き課技術支援室 技術調整係 鵜生川雅己	5名	農業技術センター (Web 視聴)	7. 2. 10

### 2 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構依頼研究員

研修者	研修会名	会場	期間
下田歩夢	高品質な牛体外受精卵の生産・選別技術に関する研究	農研機構 畜産研究部門	6. 9. 2～11. 29

### 3 中央畜産技術研修

研修者	研修会名	会場	期間
下田歩夢	肉用牛生産技術指導者養成(1)	中央畜産研修施設	6. 6. 17～ 6. 21
長島妃奈	肉用牛生産技術指導者養成(2)	中央畜産研修施設	6. 9. 30～10. 4
唐澤梨紗	新任畜産技術職員(3)	Web 開催	6. 10. 16～10. 18
櫻井敏幸	畜産新技術(A・B)	中央畜産研修施設	6. 11. 26～11. 29
今西耕平	国産飼料	中央畜産研修施設	7. 1. 15～ 1. 17
吉田健人	畜産環境保全(畜舎污水处理技術)	中央畜産研修施設	7. 2. 3～ 2. 7

### 4 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構短期集合研修

研修者	研修会名	会場	期間

### 5 農林水産技術会議事務局主催研修

研修者	研修会名	会場	期間
平林晴飛	農林水産関係中堅研究者研修	農林水産省	7. 1. 21～1. 22

## 6 その他研修

### (1) 一般研修

研修者	研 修 会 名	会 場	期 間
唐澤梨紗	新規採用職員研修	公社総合ビル他	6.4.2～9.12
平林晴飛	新任係長研修(R5年度未受講分)	公社総合ビル	6.5.15、6.26
樋高 準、 奥木庸夫	キャリアデザイン研修	動画視聴	6.8.5～9.30
青木 圭、 佐藤 勝	ライフプランセミナー	県庁	6.9.11
下田歩夢	採用後3年目研修	公社総合ビル	7.1.15、1.22

### (2) 安全管理・技能講習

研修者	研 修 会 名	会 場	期 間
奥木庸夫	車両系建設機械運転技能講習	PCT 群馬教習所	6.6.17～6.18
櫻井敏幸	車両系建設機械運転技能講習	PCT 群馬教習所	6.7.1～7.2
富沢大輝	車両系建設機械運転技能講習	PCT 群馬教習所	6.7.17～7.18
高橋伸明	車両系建設機械運転技能講習	PCT 群馬教習所	6.9.17～9.18
吉田健人	オペレーター業務演習	農林大学校	6.12.16

### (3) 技術研修

研修者	研 修 会 名	会 場	期 間
都丸友久・諏訪久仁子 鹿沼由香理・長島妃奈	有機農業研修（映画）	県庁ビジュアルセンター	6.4.16
椿由江、青木寛道	令和6年度全国和牛登録協会東部地区審査研究会	秋田県	6.5.23～5.24
唐澤梨紗	群馬県食肉衛生研所業績発表会	食肉衛生検査所	6.6.3
加藤聡、椿由江・鹿沼 由香理・長島妃奈	令和6年度ぐんまの和牛研修会	群馬県地域防災センター	6.6.17
諏訪久仁子	第45回関東しゃくなげ会研修会	Web開催	6.6.21
平林晴飛、唐澤梨紗	アフリカ豚熱リスクコミュニケーション防疫演習	産業技術センター	6.7.16
酪農係員	産業動物学術ハイブリッドセミナー	Web開催	6.7.31
加藤聡・下田歩夢 鹿沼由香理	産地活性化推進中央情報交換会	前橋市	6.8.1～8.2
平林晴飛	産業動物学術講習会	群馬県 獣医師会	6.8.27

研修者	研 修 会 名	会 場	期 間
都丸友久・樋高準・富沢大輝・鹿沼由香理・長島妃奈・加藤聡・青木寛道・鈴木睦美	群馬県土づくりに関する研修会	J Aビル	6. 8. 30
平林晴飛	関東・東京合同地区獣医師大会・三学会	Gメッセ群馬	6. 9. 1
鹿沼由香理、櫻井敏幸	農政部統計研修	農業技術センター	6. 9. 2
唐澤梨紗	東日本地区種豚登録講習会	岩手県	6. 9. 18
平林晴飛	ゾエティス・ジャパン牛学術セミナー	Web 開催	6. 9. 19
唐澤梨紗	全国家畜保健衛生業績発表会	東京都	6. 9. 19
下田歩夢	第 117 回日本繁殖生物学会名古屋大会	名古屋大学	6. 9. 22～9. 25
高野武彦	第 484 回月例研究会	Web 開催	6. 9. 27
平林晴飛、唐澤梨紗	令和 6 年度家畜診療等技術関東地区発表会・研修会	ホテル天坊	6. 10. 29～10. 30
加藤聡・下田歩夢	第 8 回日本胚移植技術研究会長野大会	長野県	6. 10. 31～11. 1
青木圭・藤井香織 唐澤梨紗	第 121 回日本養豚学会大会	Web 開催	6. 10. 31～11. 1
浅田勉・片野良平 都丸友久・鹿沼由香理	関東東山畜産関係場所長会ブロック研修	東京都	6. 11. 7
唐澤梨紗	畜産関係職員におけるチームビルディング研修	福祉総合センター	6. 11. 11
青木圭・唐澤梨紗 椿由江・鹿沼由香理 長島妃奈	令和 6 年度養豚基礎セミナー	J Aビル Web 開催	6. 11. 27
富沢大輝	畜産 GAP 研修会	吾妻中央高校	6. 12. 5
都丸友久・富沢大輝 櫻井敏幸	乳販連酪農セミナー	市町村会館	6. 12. 12
平林晴飛、唐澤梨紗	群馬県家畜保健衛生業績発表会	Web 開催	6. 12. 20
富沢大輝、櫻井敏幸	令和 6 年度乳牛登録委員研修会	J Aビル	6. 12. 20
鹿沼由香理・長島妃奈	第 486 回月例研究会	Web 開催	7. 1. 31
都丸友久、櫻井敏幸	日本全薬酪農セミナー	栃木県	7. 2. 5
椿由江	ふくしま和牛シンポジウム	福島県	7. 2. 11
富沢大輝、櫻井敏幸	第 53 回家畜人工授精優良技術発表全国大会	東京都	7. 2. 14
長島妃奈	ふくしま和牛シンポジウム in 札幌	Web 開催	7. 2. 18
平林晴飛	令和 6 年度家畜診療等技術全国研究集会	東京都	7. 2. 21

研修者	研 修 会 名	会 場	期 間
椿由江・鹿沼由香理	令和 6 年度肉用牛環境対応生産拡大基盤技術普及事業オンライン全国研修会	Web 開催	7. 2. 21
青木寛道、椿由江・鹿沼由香理・長島妃奈	令和 6 年度第 3 回東京都畜産技術連盟研修会「牛肉のおいしさを考える」	東京都 Web 開催	7. 2. 26
椿由江・鹿沼由香理・長島妃奈	第 13 回全国和牛能力共進会に向けた研修会	渋川家畜市場	7. 2. 28
平林晴飛	大動物臨床研究会東京シンポジウム	東京大学	7. 3. 1
下田歩夢	哺乳セミナー	栃木県	7. 3. 3
肉牛・繁殖技術係員	肉用牛合同研修会	J A ビル	7. 3. 7
平林晴飛	県獣医師会・関東しゃくなげ会合同研修会	獣医師会館	7. 3. 14
藤井香織・唐澤梨紗	第 122 回日本養豚学会大会	Web 開催	7. 3. 26～3. 27

(4) 場内研修等

出席者数	研 修 会 名	会 場	期 間
26 名	鳥インフルエンザ防疫研修会	研 修 棟	6. 12. 3
23 名	研究倫理等に係る研修会	研 修 棟	7. 3. 4
23 名	会計事務研修会	研 修 棟	7. 3. 4

## V 業務実績等

### 1 検査実績

#### (1) 飼料分析

依頼月	飼料の名称	検体数	分析項目		
			数	成分	手数料収入(円)
6. 7. 1	イタリアンライグラス	1	1	硝酸態窒素	2,200
6. 1. 22	イタリアンライグラス	1	1	硝酸態窒素	2,200

#### (2) 牛受精卵雌雄判別

該当なし

### 2 飼養頭羽数及び配布・売払及び生産状況

#### (1) 飼養頭羽数 (R7. 3. 31 現在)

畜種	試験畜	子畜	計	畜種	試験畜	種畜 (雄・雌)	計
乳用牛	66 頭	54 頭	120 頭	豚	165 頭	28 頭 (15・13)	193 頭
肉用牛	25	0	25	鶏	1,175 羽	2,063 羽 (1,026・2,212)	3,238 羽
繁殖雌牛	88	57	145				

#### (2) 配布・売払及び生産状況

項目	配布・売払数量	売払額 (千円)	項目	生産量	売払額 (千円)
<b>【生産物】</b>					
牛乳	670,694 kg	85,157	牧草ロールバールサイレージ		—
牛受精卵 (乳牛)	14 個	508	(乾物)	213.6 t	—
〃 (肉牛・一般)	165 個	5,445			—
〃 (肉牛・スーパー)	233 個	10,252	トウモロコシサイレージ		—
スモール (ホル♂、F1)	4 頭	359	(現物)	435 t	—
黒毛和種子牛	62 頭	31,244	(うち地下式サイロ 267 t)		
ホルスタイン初妊牛	0 頭	0	(うちロールバール 168 t)		
黒毛和種初妊牛	0 頭	0			
種子豚	0 頭	0			
肉豚	207 頭	11,316			
豚精液	939 本	1,863			
鶏卵 食卵	448,080 個	5,438			
ひな	30,350 羽	10,112			
<b>【物品】</b>			<b>【不要物品】</b>		
試験牛 (乳牛廃用牛)	26 頭	6,127	ブルドーザー等機械		78
試験牛 (和牛・肥育)	13 頭	11,639			
試験牛 (和牛廃用牛)	12 頭	1,410			
試験豚 (肉豚)	0 頭	0			
試験豚 (繁殖)	7 頭	285			

## (3) 市町村別配布状況

市町村名	受精卵(和牛)			受精卵 (乳牛)	種子豚	豚精液	鶏 雛	黒毛和種 子牛	
	一般	スーパー	小計						
前橋市	29	79	108	5		448		13	
高崎市	29	15	44	1		45		2	
桐生市	5	7	12			8		2	
伊勢崎市	11	8	19	2		14	30, 350	3	
太田市	5	21	26			228		6	
沼田市		9	9						
館林市	10		10						
渋川市	29	14	43			66		15	
藤岡市	15	8	23			26			
富岡市		8	8			52			
みどり市		20	20						
安中市	2	4	6						
北群馬郡	吉岡町	5		5				1	
	榛東村								
多野郡	上野村								
	神流町								
甘楽郡	下仁田町								
	甘楽町		5	5					
	南牧村					24			
吾妻郡	中之条町		1	1					
	東吾妻町	1	2	3					
	長野原町	18	10	28					
	草津町								
	嬭恋村		6	6					
	高山村								
利根郡	みなかみ町		5	5	6				
	片品村								
	川場村								
	昭和村		2	2				6	
佐波郡	玉村町		8	8		28			
邑楽郡	板倉町								
	明和村								
	千代田町	1		1					
	大泉町								
	邑楽町		1	1					
小計	県内	160	233	393	14	0	939	30, 350	48
県外	岩手県								1
	山形県								2
	茨城県								1
	埼玉県								4
	神奈川県								3
	三重県								2
	奈良県								1
総計		160	233	393	14	0	939	30, 350	62

### 3 種畜名簿

#### (1) 畜産試験場繁殖基礎牛

(育種価のうち枝肉重量と脂肪交雑がB以上で、どちらかがA以上の黒毛和種雌牛)

名号	得点	生年月日 登録番号	血統			2024年3月 育種価	産地
			父	母の父	母の祖父		
あつだ243 (243)	82.4	H23.8.18 黒原 1569395	忠富士	福之国	安平	ACHCCB	宮崎県
あつだ253 (253)	81.1	H26.9.23 黒原 1681869	華春福	安福久	勝忠平	HHHCHH	鹿児島県
あつだ263 (263)	81.8	H29.7.5 黒 2600349	白鵬85の3	幸紀雄	安福久	BHHAHA	鳥取県
あつだ264 (264)	81.3	H30.7.30 黒原 1744420	百合白清2	安福久	金幸	BHHAHA	鳥取県
あつだ265 (265)	80.3	H29.7.16 黒 2566097	白鵬85の3	百合茂	飛驒白清	HAHCAH	鳥取県
あつだ352 (352)	81.1	H25.1.31 黒原 1638907	芳之国	平茂勝	安平	HAHCAA	自家産
あつだ367 (367)	81.7	H26.6.10 黒 2506656	芳之国	安茂勝	金幸	ACHDDB	〃
あつだ374 (374)	81.0	H27.2.28 黒原 1686675	隆之国	安福久	平茂勝	BHABHH	〃
あつだ394 (394)	82.2	H28.12.28 黒原 1744416	美津照重	百合茂	第1花国	ABABAA	〃
あつだ396 (396)	80.4	H29.2.21 黒 2590042	美津照重	平茂晴	平茂勝	ABBDCA	〃
あつだ397 (397)	80.7	H29.3.14 黒 2590042	諒太郎	美国桜	百合茂	AHBBHH	〃
あつだ398 (398)	82.0	H29.2.8 黒原 1744417	美津百合	忠富士	福桜	BCAHAA	〃
あつだ501 (501)	80.5	H29.4.19 黒 2600346	福増	安福久	平茂勝	BHCHHA	〃
あつだ505 (505)	80.5	H29.8.6 黒 2600351	福之姫	美津照重	忠富士	AHACHH	〃
あつだ523 (523)	81.0	H31.4.18 黒原 1808168	愛之国	勝忠平	福桜(宮崎)	ABHCCH	〃
あつだ524 (524)	81.3	H31.4.25 黒 1808169	福之姫	勝忠平	福桜(宮崎)	HHHCAH	〃
あつだ525 (525)	81.2	R1.9.6 黒原 1820429	金太郎3	安福久	第1花国	HBACCB	〃

注:育種価は左から枝肉重量, ロース芯面積, ばらの厚さ, 皮下脂肪の厚さ, 歩留まり基準値, 脂肪交雑の6形質の相対評価を示す。H:上位1/10以内、A:上位1/4以内、B:上位1/2以内、C:下位1/2以内、D:下位1/4以内。

## (2) 優良導入牛(令和3年度以降導入牛 導入日順)

名号	得点	生年月日	血統			導入年度 (平成)	産地
		登録番号	父	母の父	母の祖父		
あつだ274	81.1	R3.2.7 黒原 1874993	若百合	華春福	安福久	R3	鹿児島県
あつだ275	80.5	R3.3.10 黒 2781017	若百合	喜亀忠	安福久	〃	〃
あつだ276	81.7	R3.3.17 黒原 1874992	若百合	華春福	安福久	〃	〃
あつだ277	80.6	R3.2.7 黒 2781016	若百合	百合白清2	美津照重	〃	群馬県
あつだ278	80.9	R4.1.19 黒 2826287	茂福久	諒太郎	百合茂	R4	宮城県
あつだ279	81.3	R4.1.23 黒原 1905799	茂福久	美国桜	平茂勝	〃	〃
あつだ280	80.5	R4.1.24 黒 2826289	茂福久	百合茂	安福久	〃	〃
あつだ281	82.3	R4.7.28 黒原 1918675	二刀流	耕富士	秀菊安	R5	宮崎県
あつだ282	81.3	R4.8.9 黒原 1918679	二刀流	耕富士	安福久	〃	〃
あつだ283	80.8	R4.8.25 黒 2847053	二刀流	耕富士	美国桜	〃	〃
あつだ284	82.8	R4.9.9 黒 2847050	二刀流	美穂国	忠富士	〃	〃
あつだ285	81.5	R4.10.26 黒原 1918680	貴隼桜	福之姫	安福久	〃	群馬県
ひな1の1	82.0	R.2.2.2 黒原 1872468	百合白清2	金太郎3	安福久	〃	〃
あつだ287	79.7	R4.5.15 黒 2870487	北美津久	百合白清2	安福久	〃	〃
あつだ288	80.6	R4.5.18 黒 2847050	美津照重	福之姫	安福久	R6	〃
たけい4の20	81.9	R.4.7.7 黒原 1913318	百合白清2	安福久	第1花国	〃	〃
こころ79の3	83.0	R.1.9.28 黒原 1828838	勝早桜5	安福久	忠富士	〃	〃
あつだ289		R6.1.14 申請中	耕富士	美国桜	安福久	〃	宮崎県
あつだ290		R6.2.8 申請中	白隆鵬	満点白清	耕富士	〃	〃

## (3) 人工授精所繫養種雄豚(6年度供用)

品種	名 号 ( ☆は輸入豚 )	生年月日 産 地	種豚 No	血 統 { 父 母	産 肉 能 力 検 定 成 績				検定 方法	乳頭 右:左	特徴	名称
					105kg 到達日齢	一日平均 増体重(g)	胸断面積 (cm <sup>2</sup> )	背脂肪厚 (cm)				
ラ ン ド レ ー ス 種	ルーク ハーミテージ イハボク 20 1 2568	3. 2. 16 茨城	LL08- A002582	ルーク ハーミテージ イハボク 19 1 2576 ルーク ハーミテージ イハボク 19 1 3643	—	—	—	—	—	7 : 7	繁殖 肢蹄	ルーク 568
	フォーソム ルーク オーシマ 3 0504	3. 10. 23 群馬	LL10- A000484	フォーソム シムコ オーシマ 3 0311 ルーク ハーミテージ イハボク 19 1 3253	—	—	—	—	—	8 : 8	繁殖	フォーソム 504
	ルーク ハーミテージ イハボク 22 1 2243	5. 2. 27 茨城	LL08- A003352	ルーク ハーミテージ イハボク 21 1 2036 ハーミテージ サキ イハボク 21 1 3177	—	—	—	—	—	7 : 8	繁殖	ルーク 243
	ハーミテージ ルーク イハボク 22 1 2262	5. 3. 1 茨城	LL08- 003353	ハーミテージ サキ イハボク 21 1 2183 ルーク シムコ イハボク 21 1 3191	—	—	—	—	—	7 : 7	繁殖	ハーミテージ 262
	ハート フォーソム グンマ 1 0006	5. 4. 7 群馬	LL10- A000538	ハート ファーリア グンマ 5 0012 フォーソム ルーク オーシマ 3 0500	128	1063	31.3	1.7	直接	7 : 7	繁殖 発育	ハート 006
	ルーク フォーソム グンマ 2 0051	5. 12. 25 群馬	LL10- A000542	ルーク ハーミテージ イハボク 20 1 2568 フォーソム ルーク オーシマ 3 0501	—	—	—	—	—	7 : 7	繁殖	ルーク 051
大 ヨ ー ク シ ヤ ー 種	ビツクア ハーク アイヅ 3 045-08	2. 6. 15 福島	WW07- A000909	ビツクア アロン アイヅ 5 003-03 ハーク アルフレッド アイヅ 5 052-04	—	—	—	—	—	7 : 7	繁殖 肢蹄	ビツクア 08
	チタン グローバル トチキボシ 3 043-02	3. 1. 12 栃木	WW09- A001066	チタン サターン トチキボシ 3 060-01 グローバル イロン アイヅ 8 090-04	—	—	—	—	—	7 : 7	繁殖	チタン 02
	ビツクア グローバル トチキボシ 3 126-03	4. 8. 11 栃木	WW09- A001072	ビツクア アロン アイヅ 5 003-06 グローバル サンブ アイヅ 6 036-01	—	—	—	—	—	6 : 6	肢蹄	ビツクア 03
	ユーロン ソルハックカート イテ 5 0016	5. 2. 5 群馬	WW10- A000349	ユーロン ミヤボク イハボク 19 1 6014 ソルハックカート イテ 2 0031	144	1136	28.9	1.9	直接	8 : 8	繁殖	ユーロン 016
デ ユ ロ ッ ク 種	ユメサクラエース ユメサクラ オーシマ 10 0318	2. 1. 10 群馬	DD10- A000550	ユメサクラエース D ミヤボク 15 1 8770 ユメサクラ D ミヤボク 15 2 5044	—	—	—	—	—	7 : 6	発育 肉質	エース 318
	ユメサクラエース ユメサクラ オーシマ 14 0497	3. 10. 2 群馬	DD10- A001178	ユメサクラエース バイク グンマ 3 0049 ユメサクラ D ミヤボク 15 2 5044	—	—	—	—	—	7 : 7	肉質	エース 497
	トライフェクタ ユメサクラ トチキボシ 3 127-02	4. 8. 13 栃木	DD09- A001889	トライフェクタ ユメサクラ トチキボシ 1 123-07 ユメサクラ D ミヤボク 20 3 5261	—	—	—	—	—	6 : 6	肉質	エース 497
	エクस्पレス ファイヤー イハボク 23 1 8084	5. 5. 25 茨城	DD08- A003055	エクस्पレス ユメサクラ イハボク 22 1 8667 エクस्पレス ファイヤー イハボク 22 2 9686	—	—	—	—	—	6 : 6	肉質	エクस्पレス 084

## VI 附 帯 業 務

### 1 講習会等への職員派遣

#### (1) 家畜人工授精師養成講習会

開催期間 講習：6.6.27～7.26 修業試験：6.7.29～31

部 門	受講者数	科目および講師
牛	9名 (合格者7名)	学科 ・畜産概論：下田歩夢 ・家畜の飼養管理：都丸友久 ・家畜の栄養：都丸友久 ・種付けの理論：加藤聡 ・繁殖生理：平林晴飛 ・人工授精：加藤聡、諏訪久仁子、櫻井敏幸 実習 ・家畜の飼養管理：都丸友久 ・発情鑑定：加藤聡 ・人工授精：加藤聡、青木寛道、櫻井敏幸、下田歩夢

#### (2) 家畜商講習会

受講者数	科 目 お よ び 講 師
24名	家畜の品種及び特徴（大家畜）：鹿沼由香理 家畜の悪へき・機能障害（大家畜）：平林晴飛 家畜の品種及び特徴（中小家畜）：青木 圭 家畜の悪へき・機能障害（中小家畜）：唐澤梨紗

#### (3) 全国食肉学校講義

科 目	講義数	受講者数	講 師	期 間
家畜生産(牛・豚・鶏)、 品種および生産体系	3時限	34名	青木 圭	6.4.19
			鹿沼由香理	6.5.27
			後藤美津夫	6.5.31

#### (4) 出前なんでも講座

タイトル名	人 数	会 場	講 師	期 日
ぎゅうにゅうのお話	20名	吾妻郡共進会	富沢大輝	6.9.25

## (5) その他の技術指導

部 門	研修会・講習会等名称	参加 人員 (名)	主 催	期 間	場 所
酪 農	学校農業クラブ連盟家畜審査講習会	113	県学校農業クラブ連盟	6. 5. 14	当 場
	学校農業クラブ連盟家畜審査競技会	113	県学校農業クラブ連盟	6. 6. 11	当 場
	JA 前橋市宮城支所酪農部夏季研修会	12	JA 前橋市宮城支所酪農部	6. 6. 27	前橋市内
	普及指導員研修会	11	野菜花き課	6. 7. 9	当 場
	令和6年度群馬県畜産共進会西部地域予選会(乳牛の部)	18	西部地区家畜共進会	6. 9. 17	西毛地域
	令和6年度前橋市乳牛共進会	10	前橋市	6. 9. 19	前橋市内
	令和6年度吾妻郡牛共進会	33	吾妻郡牛共進会	6. 9. 25	吾妻地域
	令和6年度関東甲信越地区牛削蹄競技大会	14	群馬県牛削蹄師会	6. 9. 27	当 場
	第28回群馬県畜産共進会(乳牛の部)	50	群馬県畜産協会	6. 10. 25	当 場
	第1回畜産試験場酪農セミナー	81	会場	6. 11. 20	当 場
JA 前橋市酪農振興部会全体講演会	19	JA 前橋市本所営農部	7. 2. 26	当 場	
肉 牛	第13回全国和牛能力共進会出品希望農家の巡回調査	19	群馬県畜産協会	6. 4. 17 ～4. 30	県内全域
	ぐんまの和牛研修会	50	米麦畜産課	6. 6. 17	前橋合庁
	普及指導員研修会	11	野菜花き課	6. 7. 9	当 場
	第65回関東肉牛枝肉共進会出品候補牛巡回審査	10	群馬県家畜商商業協同組合	6. 8. 7 8. 9	県内全域
	県畜産共進会東部地域予選会(繁殖和牛の部)	21	東部地域予選会実行委員会	6. 9. 17	東部地域
	JA 前橋市和牛改良組合和牛共進会巡回選抜審査会	4	JA 前橋市和牛改良組合	6. 9. 19	前橋市内
	令和6年度群馬県畜産共進会西部地域予選会・第72回高崎市畜産共進会(繁殖和牛の部)	24	西部地域予選会・高崎市	6. 9. 19 ～9. 20	西部地域
	第28回群馬県畜産共進会(繁殖和牛の部)	52	群馬県畜産協会	6. 10. 23	当 場
	買受人組合研修会	15	(株)群馬県食肉卸売市場買受人組合	6. 10. 26	渋川市
	第74回群馬県家畜商協同組合肉牛枝肉共進会	80	群馬県家畜商商業協同組合	6. 11. 18	玉村町
	第22回家畜商商業協同組合太田支部枝肉共進会	43	家畜商商業協同組合太田支部	6. 11. 25	玉村町
	第17回群馬県産上州和牛枝肉共進会	34	群馬県JA肉牛肥育部連絡協議会	6. 11. 29	玉村町
	第32回群馬県枝肉共励会(肉牛の部)ぐんまふれあいミートフェスタ	120	群馬県食肉品質向上対策協議会	6. 12. 2	玉村町
	第63回上州和牛・上州牛枝肉展示会	100	群馬県食肉卸売市場	6. 12. 9	玉村町
第30回肉牛枝肉共進会	101	群馬県JA肉牛肥育部連絡協議会	6. 12. 16	玉村町	
肉用牛合同研修会	121	群馬県畜産協会 他	7. 3. 7	JA ビル	
養 豚	普及指導員研修会	11	野菜花き課	6. 7. 9	当 場
山 羊	第28回群馬県畜産共進会(山羊の部)	46	群馬県畜産協会	6. 8. 23	渋川市
養 鶏	トマル養鶏研究会講演会	240	トマル養鶏研究会	6. 5. 23	前橋市
	普及指導員研修会	11	野菜花き課	6. 7. 9	当 場
	群馬県養鶏協会養鶏技術研修会	40	群馬県養鶏協会	6. 8. 5	当 場
	第54回群馬県種鶏孵卵協会研修会	20	群馬県種鶏孵卵協会	6. 10. 29	渋川市

部 門	研修会・講習会等名称	参加 人員 (名)	主 催	期 間	場 所
養 蜂	第 28 回蜂蜜品質向上共励会	50	群馬県養蜂協会	6. 10. 17	県 庁
飼料作物	普及指導員研修会	11	野菜花き課	6. 7. 9	当 場
環 境	浄化槽管理技術情報研修会	12	米麦畜産課	6. 7. 26	当 場
繁 殖	群馬東部和牛改良組合研修会	18	群馬東部和牛改良組合	6. 5. 29	みどり市
	ぐんま和牛研修会	50	米麦畜産課	6. 6. 17	前橋市
	普及指導員研修会	11	野菜花き課	6. 7. 9	当 場
	安足地方農業振興会・営農技術対策畜産部門先進事例研修	20	安足地方農業振興協議会	6. 9. 11	当 場
	東京都農林水産振興財団視察	3	東京都農林水産振興財団	6. 9. 17	当 場
	渋川市場出荷者研修会	64	全農群馬県本部	6. 12. 3	渋川市
	JA 前橋市和牛改良組合研修会	12	JA 前橋市和牛改良組合	6. 12. 12	渋川市
牛群改良・BLV 対策の意見交換会	9	全農群馬群馬県本部	7. 3. 19	当 場	

## 2 会議出席

会 議 名	開 催 日	参 集 範 囲	場 所
<b>【試験研究関係等】</b>			
研究調整担当者会議(第1回)	6. 4. 19	県	Web 開催
農業技術推進会議本会議(第1回)	6. 5. 16	県	書面開催
農業技術推進会議本会議(第2回)	6. 11. 12	県	Web 開催
研究調整担当者会議(第2回)	6. 12. 24	県	Web 開催
令和6年度食肉安全推進連絡会議	7. 3. 5	県	書面開催
研究調整担当者会議(第3回)	7. 3. 7	県	Web 開催
<b>【酪農】</b>			
群馬県学校農業クラブ連盟顧問会議	6. 4. 22	高校、団体	当 場
第43回赤城酪連乳牛能力検定組合	6. 5. 14	生産者	赤城酪連
群馬県学校農業クラブ連盟家畜審査協議会審査員打合せ会議	6. 5. 28	高校、団体	当 場
生乳の安心安全群馬県協議会	6. 6. 5	団体、生産者、県	J Aビル
群馬県畜産協会事業推進会議	6. 6. 10	団体、生産者、県	J Aビル
県産生乳の安全性確保推進会議	6. 7. 1	団体、生産者、県	J Aビル
乳用牛改良推進ブロック会議	6. 9. 9	団体、県関係機関	東京都
乳用牛群検定推進ブロック会議	6. 9. 10	団体、県関係機関	東京都
産業動物獣医問題県域協議会専門部会	6. 9. 10	団体、県	ぐんま男女共同 参画センター
乳質改善共励会担当者会議及び審査委員会	6. 12. 11	団体、県	書面開催
乳牛生産振興委員会	7. 2. 12	団体、県	J Aビル
乳用牛群検定推進ブロック会議	7. 2. 13	団体	東京都
乳質改善共励会表彰式	7. 3. 14	団体、生産者、県	J Aビル
県産生乳の安全性確保推進会議	7. 3. 31	団体、生産者、県	書面開催
<b>【肉牛】</b>			
JA 前橋市肉牛肥育部会令和6年度通常総会	6. 4. 12	団体、生産者	前橋市
群馬県学校農業クラブ連盟顧問会議	6. 4. 22	高校、団体	当 場
第29回 JA 碓氷安中肉用牛部会通常総会	6. 4. 26	団体、生産者	JA 碓氷安中
JA 北群渋川肉牛生産協議会通常総会	6. 4. 26	団体、生産者	渋川市
JA 佐波伊勢崎肉牛肥育部第22回通常総会	6. 5. 20	団体、生産者	伊勢崎市
まえばし畜産物ブランド推進協議会第9回通常総会	6. 5. 22	団体、生産者	JA 前橋市
令和6年度全国和牛登録協会東部地区支部長・審査委員合同協議会	6. 5. 23~24	関係団体他	秋田県
群馬県学校農業クラブ連盟家畜審査協議会審査員打合せ会議	6. 5. 28	高校、団体	当 場
令和5年度、6年度買受人組合通常総会	6. 6. 15	組合員、団体	高崎市
第13回全国和牛能力共進会第9回出品対策運営委員会	6. 6. 20	団体、県	当 場
群馬県和牛改良組合連絡協議会第33回通常総会	6. 6. 28	団体、生産者	前橋市

会 議 名	開 催 日	参 集 範 囲	場 所
第 13 回全国和牛能力共進会群馬県出品対策部会第 2 回肉牛班・第 3 回種牛班	6. 7. 17	団体、生産者、県	J A ビル
第 32 回群馬県枝肉共励会(ぐんまふれあいミートフェスタ)開催会議	6. 8. 7	団体、県	(株)群馬県食肉卸売市場
JA 邑楽館林肉牛部会暑気払い	6. 8. 9	団体、生産者	館林市
第 13 回全国和牛能力共進会第 10 回出品対策運営委員会	6. 8. 28	団体、県	当 場
第 13 回全国和牛能力共進会第 2 回群馬県出品対策部会	6. 9. 30	団体、県	J A ビル
第 13 回全国和牛能力共進会第 2 回群馬県出品対策協議会	6. 10. 16	団体、県	J A ビル
令和 6 年度群馬県 JA 肉牛肥育部連絡協議会代表者全体会議	6. 10. 28	団体、生産者、県	J A ビル
第 13 回全国和牛能力共進会第 11 回出品対策運営委員会	6. 11. 7	団体、県	当 場
第 27 回関東東山肉用牛試験研究連絡会議	6. 11. 19	茨城、栃木、群馬、千葉、神奈川、山梨、長野、静岡、埼玉県肉用牛試験担当者	Web 開催
第 13 回全国和牛能力共進会第 12 回出品対策運営委員会	7. 1. 9	団体、県	当 場
和牛生産振興委員会	7. 1. 17	生産者、団体、県	J A ビル
登録協議会、第 13 回全国和牛能力共進会第 2 回全国連絡協議会	7. 1. 23	関係団体、県	京都府
第 13 回全国和牛能力共進会第 13 回出品対策運営委員会	7. 3. 5	団体、県	前橋市
<b>【養豚・緬山羊】</b>			
群馬県肉豚出荷調整協議会	6. 5. 21	生産者、団体、県	県 庁
第 30 回群馬県養豚協会通常総会	6. 6. 7	生産者、団体・会社、県	J A ビル
緬山羊生産振興委員会	6. 7. 26	生産者、団体、県	J A ビル
国産純粋種豚改良協議会令和 6 年度総会	6. 12. 18	生産者、団体・会社、国・県、大学	Web 開催
種豚生産振興委員会	7. 3. 5	生産者、団体、県	J A ビル
<b>【養鶏・養蜂】</b>			
第 35 回群馬県地鶏生産普及促進協議会及び第 10 回総会	6. 7. 10	協議会員	県 庁
第 42 回群馬県養鶏協会総会	6. 8. 5	協議会員	当 場
第 36 回群馬県地鶏生産普及促進協議会	6. 11. 1	協議会員	県 庁
令和 7 年度経済能力検定鶏種選定会議	7. 2. 17	生産者、団体、県	J A ビル
第 37 回群馬県地鶏生産普及促進協議会	7. 3. 6	協議会員	県 庁
<b>【飼料・環境】</b>			
畜産環境保全対策推進事業担当者会議	6. 5. 28	県	県 庁
群馬県作物病害虫・雑草防除指針作物別検討会議	6. 11. 11	団体、県	県 庁

会 議 名	開 催 日	参 集 範 囲	場 所
飼料作物等高能力新品種選定会議 (関東・東海・近畿ブロック)	6. 12. 17	都府県関係者、種苗メーカー	日本草地畜産 種子協会
群馬県指定農薬運営委員会幹事会	7. 1. 20	県	県 庁
<b>【繁殖】</b>			
令和6年度家畜人工授精師養成講習会打 合せ会議	6. 4. 18	団体、県	当 場
スーパー黒毛和種受精卵供給事業第5回配 布に係る回議	6. 4. 24	団体、県	当 場
第13回全国和牛能力共進会第9回出品対 策運営委員会	6. 6. 20	団体、県	当 場
家畜人工授精師協会通常総会	6. 6. 26	生産者、団体、県	J Aビル
JA前橋市和牛改良組合第18回通常総会	6. 7. 8	生産者、団体、県	前橋市
和牛能力共進会出品特別対策事業に係る 事業説明会	6. 7. 5	生産者、団体、県	J Aビル
第13回全国和牛能力共進会出品対策部会	6. 7. 17	生産者、団体	J Aビル
第2回肉牛班、第3回種牛班			
第13回全国和牛能力共進会第10回出品対 策運営委員会	6. 8. 28	団体、県	当 場
第13回全国和牛能力共進会第2回出品対 策部会	6. 9. 30	団体、市町村、県	J Aビル
令和6年度導入牛選定会議	6. 10. 11	生産者、団体、県	渋川家畜市場
第13回全国和牛能力共進会第11回出品対 策運営委員会	6. 11. 7	団体、県	当 場
令和6年度群馬県和牛改良組合連絡協 議会業務推進会議	6. 12. 16	生産者、団体、県	前橋市
第13回全国和牛能力共進会第12回出品対 策運営委員会	7. 1. 9	団体、県	当 場
平準化事業推進会議	7. 2. 17	団体、県	J Aビル
第13回全国和牛能力共進会第13回出品対 策運営委員会	7. 3. 5	団体、県	当 場
凍結精液利用促進委員会	7. 3. 5	団体、県	J Aビル

### 3 技術相談・依頼診断及び審査

部 門	技術相談	依頼診断	審 査	計
酪 農	5 件	0 件	2 件	7 件
肉 牛	6	0	24	30
繁殖技術	28	4	0	32
養 豚	3	0	0	3
養 鶏	10	0	0	10
緬・山羊	1	0	1	2
養 蜂	0	0	1	1
畜産環境	0	0	0	0
飼料作物	1	2	0	3
計	54	6	28	88

条例に基づく検査は検査実績の項に記載

### 4 視察及び見学

#### (1) 国内

区 分	件 数	人 員
	件	名
酪農係	2	30
繁殖技術係	4	23
計	6	53

#### (2) 国外

区 分	国 名	人 員	期 間

### 5 研究生・研修生

#### (1) 農業関係試験研究機関技術研修員

氏 名	研 修 内 容	研 修 期 間	所 属
持田紗英 勝田陽太	牛の飼養管理技術の習得 〃	6. 6. 17～6. 20 6. 8. 5～8. 9	群馬県農業共済組合 (一社) 家畜改良事業団

#### (2) 実務実習生 (インターンシップ)

氏 名	研 修 科 目	研 修 期 間	所 属

## VII 庶務及び施設整備

### 1 職員

#### (1) 職員名簿

職名	氏名	職名	氏名
場長(技)	浅田 勉	肉牛係	
次長(事:総務係長)	木島哲哉	肉牛係長(技)	椿 由江
研究調整官(技)	片野良平	主査(技)	奥木庸夫
		主任(技)	鹿沼由香理
		技師	長島妃奈
総務係		繁殖技術係	
主幹(事)	永井紀子	主席研究員(技:繁殖技術係長)	加藤 聡
主幹(事)	岡田優子	独立研究員(技)	青木寛道
		技師	櫻井敏幸
飼料環境係		技師	下田歩夢
飼料環境係長(技)	大久保嘉洋	主幹専門員(技)	鈴木睦美
主査(技)	間庭 進		
技師	高野武彦	養豚係	
技師	今西耕平	主任研究員(技:養豚係長)	青木 圭
技師	住吉帆南	管理長代理(技)	佐藤 勝
技師	藤澤 望	主査(技)	深津徳人
技師	吉田健人	主任(技)	藤井香織
副主幹専門員(技)	新井英雄	技師	唐澤梨紗
酪農係		養鶏係	
酪農係長(技)	平林晴飛	主任研究員(技:養鶏係長)	後藤美津夫
主査(技)	樋高 準	主査(技)	住吉英雄
独立研究員(技)	都丸友久	主査(技)	木暮真史
主任(技)	湯浅泰子	技師	五十嵐大樹
技師	諏訪久仁子		
技師	高橋伸明		
技師	富沢大輝		

## (2) 令和5年度末転出職員

氏名	旧職名	新所属
清水養一	場長(技)	農業技術センター 所長(技)
飯塚悦子	次長 総務係長(事)	会計管理課 審査室長(事)
山崎久美子	総務係 副主幹(事)	前橋行政県税事務所総務振興係 副主幹(事)
楢淵隆之	主任研究員 酪農係長(技)	西部農業事務所家畜保健衛生課 補佐 環境衛生係長(技)
六本木梨果	繁殖技術係 主任(技)	農林大学校就農支援係 主任(技)
宮澤浩太	養豚係 主任(技)	米麦畜産課畜産振興係 主任(技)

## (3) 令和6年度転入職員

氏名	新職名	旧所属
浅田 勉	場長(技)	浅間家畜育成牧場長(技)
木島哲哉	次長 総務係長(事)	統計課 補佐(事)加工統計係長
片野良平	研究調整官(技)	東部農業事務所家畜保健衛生課 次長(技)
岡田優子	総務係 主幹(事)	前橋行政県税事務所総務振興係 主幹(事)
大久保嘉洋	飼料環境係長(技)	西部農業事務所家畜保健衛生課 環境衛生係長(技)
高野武彦	飼料環境係 技師	畜産課畜産環境係 技師
平林晴飛	酪農係長(技)	家畜衛生研究所 遺伝子検査係長(技)
櫻井敏幸	繁殖技術係 技師	畜産課飼料牧野係 技師
鈴木睦美	繁殖技術係 主幹専門員(技)	東部農業事務所家畜保健衛生課 主幹専門員(技)
藤井香織	養豚係 主任(技)	東部農業事務所家畜保健衛生課 主任(技)

## (4) 令和6年度採用職員

技師 唐澤梨紗

## (5) 令和6年度退職者

主幹専門員(技) 鈴木睦美

技師 諏訪久仁子

## 2 収入及び決算

### (1) 収入

科 目 (款項目節)	調 定 額	収入済額	収入未済額
○ 一般会計	円	円	円
8 使用料及び手数料	189,947	189,947	0
1 使用料	185,547	185,547	0
8 農政使用料	185,547	185,547	0
2 米麦畜産関係使用料	185,547	185,547	0
2 土地使用料	185,547	185,547	0
2 手数料	4,400	4,400	0
8 農政手数料	4,400	4,400	0
3 米麦畜産関係手数料	4,400	4,400	0
4 検定手数料	4,400	4,400	0
10 財産収入	182,352,666	182,352,666	0
2 財産売払収入	182,352,666	182,352,666	0
2 物品売払収入	19,382,817	19,382,817	0
1 不用品売払代金	19,382,817	19,382,817	0
4 畜産試験場所属	19,382,817	19,382,817	0
3 生産物売払収入	162,969,849	162,969,849	0
2 農政費所属	162,969,849	162,969,849	0
2 畜産試験場所属	162,969,849	162,969,849	0
14 諸収入	16,341,568	16,341,568	0
4 受託事業収入	13,805,000	13,805,000	0
6 農政費受託事業収入	13,805,000	13,805,000	0
3 農業試験受託事業収入	13,805,000	13,805,000	0
2 米麦畜産試験受託事業収入	13,805,000	13,805,000	0
6 雑入	2,536,568	2,536,568	0
5 雑入	2,536,568	2,536,568	0
1 雑入	2,536,568	2,536,568	0
41 雑入 (米麦畜産課)	2,536,568	2,536,568	0
合 計	198,884,181	198,884,181	0

## (2) 決算

科 目 (款項目節)	予算配布額	支出額	残 額
○ 一般会計	円	円	円
3 総務費	8,675,437	8,675,437	0
1 総務管理費	8,675,437	8,675,437	0
2 人事管理費	8,095,902	8,095,902	0
2 給料	5,096,664	5,096,664	0
3 職員手当	1,261,304	1,261,304	0
4 共済費	1,737,934	1,737,934	0
5 総務事務管理費	579,535	579,535	0
8 旅費	1,305	1,305	0
11 役務費	8,800	8,800	0
12 委託料	569,430	569,430	0
9 農政費	569,191,187	569,191,187	0
1 農政費	676,818	676,818	0
1 農政総務費	465,818	465,818	0
3 職員手当	46,600	46,600	0
8 旅費	376,718	376,718	0
18 負担金補助及び交付金	42,500	42,500	0
7 家畜保健衛生費	211,000	211,000	0
10-2 その他需用費	10,000	10,000	0
18 負担金補助及び交付金	201,000	201,000	0
3 米麦畜産費	557,084,446	557,084,446	0
2 畜産経営費	204,000	204,000	0
10-2 その他需用費	204,000	204,000	0
3 畜産振興費	13,127,082	13,127,082	0
8 旅費	90,780	90,780	0
10-2 その他需用費	11,822,400	11,822,400	0
11 役務費	1,120,072	1,120,072	0
17 備品購入費	93,830	93,830	0
4 飼料牧野費	70,000	70,000	0
10-2 その他需用費	70,000	70,000	0
5 浅間家畜育成牧場費	5,800	5,800	0
8 旅費	5,800	5,800	0
6 畜産環境整備費	80,000	80,000	0
10-2 その他需用費	60,000	60,000	0
13 使用料及び賃借料	20,000	20,000	0
9 畜産試験場費	543,597,564	543,597,564	0
1 報酬	38,180,768	38,180,768	0
2 給料	139,927,103	139,927,103	0
3 職員手当	95,180,182	95,180,182	0
4 共済費	51,727,542	51,727,542	0
8 旅費	3,609,511	3,609,511	0
10-2 その他需用費	182,580,086	182,580,086	0
11 役務費	12,982,005	12,982,005	0
12 委託料	5,794,825	5,794,825	0
13 使用料及び賃借料	96,362	96,362	0
14 工事請負費	396,000	396,000	0
15 原材料費	260,260	260,260	0
17 備品購入費	10,952,470	10,952,470	0
18 負担金補助及び交付金	1,524,250	1,524,250	0
26 公課費	386,200	386,200	0

科 目 (款項目節)	予算配布額	支出額	残 額
4 野菜花き費	11,429,923	11,429,923	0
5 試験研究総合調整費	11,429,923	11,429,923	0
8 旅費	429,500	429,500	0
10-2 その他需用費	5,775,193	5,775,193	0
14 工事請負費	285,450	285,450	0
17 備品購入費	4,939,780	4,939,780	0
11 県土整備費	1,287,000	1,287,000	0
9 建築費	1,287,000	1,287,000	0
1 建築総務費	1,287,000	1,287,000	0
3 建築営繕調整費	1,287,000	1,287,000	0
14 工事請負費	1,287,000	1,287,000	0
合 計	579,153,624	579,153,624	0

### 3 土地及び建物

区 分	建 物		土 地			
	棟数	延面積	敷地	畑	その他	計
本 場	45	19,915.66 <sup>m<sup>2</sup></sup>	248,779.01 <sup>m<sup>2</sup></sup>	418,779.09 <sup>m<sup>2</sup></sup>	43,298.11 <sup>m<sup>2</sup></sup>	710,856.21 <sup>m<sup>2</sup></sup>
※旧センター (内借地)	11	2,750.6			628,116.00 (136,250.00)	628,116.00 (136,250.00)
計 (内借地)	56	22,666.26	248,779.01	418,779.09	671,414.11 (136,250.00)	1,338,972.21 (136,250.00)

※旧吾妻肉牛繁殖センターはR6.4.1付けでグリーンイノベーション推進課に所掌替え

### 4 施設整備及び主要備品

#### (1) 施設整備 (30万円以上)

工 事 場 所	工 事 名	金 額
気象観測装置	気象観測装置 (雨量計) 修繕工事	413
育成牛舎	電動シャッター開閉器交換工事	490
搾乳牛舎	真空発生装置更新工事	1,045
〃	ドアフィーダー交換修繕工事	548
乾燥施設	牛堆肥乾燥施設修繕工事 (南レーン)	4,249
繁殖育成牛舎	コンセント修繕	378
〃	給水管凍結防止修繕工事	814
〃	柵修繕工事	1,287
肉牛舎	天井ファン設置工事	396
育成豚舎	飼料搬送機リンクチェーン交換修繕工事	330

## (2) 主要備品（50万円以上）

品名	規格	取得年月日	供用係	取得価格 千円
哺乳ロボット用体重計 (2台)	カープフィーダー用体重計	6. 9. 26	繁殖技術係	1,122
枝肉撮影用カメラ	MIJ-15K	6. 8. 1	肉牛係	6,105
食肉脂質測定装置	S-7740	6.11. 5	肉牛係	3,674
哺乳ロボット	ハイジーンボックス、カー プマネージャー、半身体重 計等付属	7. 3. 18	酪農係	4,180

# VIII その他

## 1 気象表

月	旬	気温 ℃									雨量			日射量		地温 (℃)						
		平均			最高			最低			(mm)	(%)	(KW/nf)	(%)	① 地下30cm			② 地下15cm				
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
4月	上	13.4	10.1	3.3	19.4	15.6	3.8	8.5	5.1	3.4	37.5	17.3	217	23.6	46.8	50	11.3	10.3	1.0	12.1	10.6	1.5
	中	-	11.8	-	-	17.1	-	-	7.0	-	-	35.3	-	-	43.6	-	-	11.3	-	-	11.8	-
	下	16.6	13.6	3.1	23.7	19.0	4.7	11.5	8.6	2.9	9.5	20.8	46	31.4	45.3	69	10.9	12.7	-1.7	12.1	13.3	-1.2
	平均	15.0	11.8	3.2	21.6	17.3	4.3	10.0	6.9	3.1	47.0	73.4	64	27.5	45.3	61	11.1	11.4	-0.3	12.1	11.9	0.2
5月	上	17.0	16.1	1.0	25.9	22.0	4.0	10.1	10.6	-0.5	58.5	19.2	305	49.3	46.4	106	16.6	15.2	1.4	17.2	15.9	1.3
	中	17.9	17.8	0.1	25.6	22.7	2.9	11.7	13.3	-1.6	27.0	22.1	122	45.0	36.5	123	17.0	16.2	0.9	18.0	17.0	1.0
	下	20.1	19.5	0.6	27.6	24.8	2.7	14.9	14.6	0.3	10.0	37.5	27	53.1	45.9	116	18.6	17.6	0.9	19.8	18.7	1.1
	平均	18.3	17.8	0.5	26.4	23.2	3.2	12.2	12.8	-0.6	95.5	78.8	121	49.1	42.9	115	17.4	16.3	1.1	18.3	17.2	1.1
6月	上	18.5	19.2	-0.7	24.3	23.7	0.6	14.0	15.1	-1.1	91.5	38.9	235	47.2	40.2	117	19.1	18.4	0.7	20.0	19.3	0.7
	中	22.6	19.7	2.9	28.5	23.9	4.6	17.3	15.9	1.5	34.5	52.1	66	59.3	35.2	168	21.2	18.8	2.4	22.8	19.6	3.1
	下	22.3	23.1	-0.8	26.3	27.4	-1.1	18.9	19.5	-0.5	38.5	69.1	56	29.7	34.7	85	21.7	20.3	1.4	22.8	21.6	1.2
	平均	21.2	20.7	0.5	26.4	25.0	1.4	16.7	16.8	-0.1	164.5	160.1	103	45.4	36.7	124	20.7	19.2	1.5	21.9	20.2	1.7
7月	上	26.4	23.6	2.8	30.9	27.8	3.1	22.4	20.3	2.2	57.0	58.8	97	36.9	30.5	121	23.6	21.3	2.4	25.3	22.3	3.0
	中	23.8	25.6	-1.8	27.0	30.2	-3.2	21.0	21.7	-0.7	62.0	57.0	109	22.7	36.2	63	23.6	22.5	1.0	24.4	23.7	0.7
	下	27.7	25.8	1.9	33.8	30.4	3.4	23.4	22.0	1.4	46.0	88.0	52	62.0	41.4	150	25.8	23.6	2.2	27.5	24.6	2.9
	平均	25.9	25.0	0.9	30.6	29.5	1.1	22.3	21.3	1.0	165.0	203.8	81	40.5	36.0	113	24.3	22.5	1.8	25.8	23.6	2.2
8月	上	27.2	26.6	0.6	33.2	31.5	1.7	23.0	22.8	0.2	6.5	35.2	18	54.7	41.5	132	27.2	24.8	2.3	28.7	25.9	2.8
	中	27.5	26.2	1.3	32.8	30.7	2.0	23.9	22.7	1.2	52.5	74.9	70	47.0	34.9	135	27.3	25.0	2.3	28.5	25.8	2.7
	下	25.5	25.5	0.0	29.7	30.1	-0.5	22.7	21.9	0.9	130.0	70.4	185	29.9	39.9	75	26.9	24.8	2.1	27.4	25.3	2.1
	平均	26.7	26.1	0.6	31.9	30.8	1.1	23.2	22.4	0.8	189.0	180.6	105	43.9	38.8	113	27.1	24.9	2.3	28.2	25.6	2.5
9月	上	25.0	24.5	0.5	29.9	29.3	0.6	21.0	20.9	0.0	110.0	72.5	152	38.6	29.8	130	25.8	24.0	1.7	26.2	24.3	1.9
	中	26.0	23.3	2.7	31.4	28.3	3.1	22.4	19.4	3.0	49.0	47.3	103	36.1	31.2	116	26.8	23.6	3.2	27.3	23.7	3.6
	下	20.9	19.6	1.2	24.4	24.1	0.3	18.0	16.1	2.0	11.0	48.8	23	19.8	30.0	66	24.9	22.3	2.6	24.4	22.0	2.4
	平均	24.0	22.5	1.5	28.6	27.2	1.4	20.4	18.8	1.7	170.0	168.7	101	31.5	30.3	104	25.8	23.3	2.5	26.0	23.4	2.6
10月	上	19.1	18.3	0.8	22.4	22.5	-0.1	21.0	14.7	6.3	69.5	42.5	163	12.8	29.0	44	23.0	22.4	0.6	22.2	20.6	1.5
	中	18.5	15.7	2.8	23.2	20.1	3.1	22.4	12.1	10.3	0.5	43.7	1	31.8	24.6	129	21.5	19.8	1.7	21.2	19.0	2.1
	下	15.7	13.5	2.2	19.6	17.9	1.8	18.0	10.0	8.0	39.5	37.8	105	19.8	32.4	61	20.0	18.0	1.9	18.9	17.2	1.7
	平均	17.8	15.8	1.9	21.8	20.2	1.6	20.4	12.3	8.2	109.5	124.0	88	21.4	28.6	75	21.5	20.1	1.4	20.7	18.9	1.8
11月	上	12.3	12.3	0.0	17.6	17.1	0.6	8.1	8.4	-0.3	37.0	11.7	317	22.6	29.8	76	-	16.6	-	-	14.7	-
	中	13.1	10.2	2.9	20.2	14.7	5.4	8.9	6.5	2.4	3.5	18.7	19	19.9	27.0	74	16.6	15.2	1.4	15.7	13.2	2.5
	下	9.7	8.7	1.0	18.6	13.2	5.3	5.0	4.9	0.1	7.0	15.0	47	23.0	23.3	99	14.3	13.6	0.6	12.5	11.6	0.9
	平均	11.7	10.4	1.3	18.8	15.0	3.8	7.3	6.6	0.7	47.5	45.3	105	21.9	26.7	82	15.4	15.1	0.3	14.1	13.2	0.9
12月	上	8.4	6.7	1.6	16.7	11.5	5.2	3.4	3.0	0.4	0.0	8.3	0	24.2	22.3	108	12.7	12.1	0.6	11.1	10.8	0.3
	中	5.0	5.1	-0.1	12.8	9.8	3.0	0.6	1.4	-0.8	0.0	8.7	0	17.9	22.9	78	10.5	10.7	-0.1	8.6	9.2	-0.6
	下	4.6	3.9	0.7	12.8	8.7	4.0	-0.2	0.1	-0.3	0.0	6.8	0	19.5	25.3	77	9.2	9.2	0.0	7.5	7.7	-0.2
	平均	6.0	5.2	0.7	14.1	10.0	4.1	1.2	1.5	-0.2	0.0	23.8	0	20.5	23.5	87	10.8	10.6	0.2	9.1	9.2	-0.2
1月	上	3.9	3.1	0.8	11.2	7.9	3.3	-0.9	-0.6	-0.2	6.0	1.7	362	19.3	25.0	77	8.4	8.1	0.2	6.9	6.7	0.1
	中	3.8	2.4	1.3	12.5	7.3	5.2	-1.1	-1.2	0.2	3.0	4.5	67	22.0	23.5	94	7.4	7.4	0.0	6.0	6.3	-0.3
	下	5.1	2.5	2.5	12.9	7.5	5.4	0.2	-1.3	1.5	0.0	13.7	0	27.0	30.2	89	7.8	6.9	1.0	6.8	5.7	1.1
	平均	4.2	2.7	1.6	12.2	7.5	4.6	-0.6	-1.1	0.5	9.0	19.9	45	22.7	26.2	87	7.9	7.5	0.4	6.5	6.2	0.3
2月	上	1.8	2.5	-0.7	7.9	7.5	0.4	-2.2	-1.4	-0.8	0.0	0.6	0	1.7	3.1	56	6.9	6.7	0.2	5.5	5.7	-0.3
	中	4.0	3.3	0.7	11.8	8.3	3.6	-1.2	-0.7	-0.5	0.0	0.7	0	3.3	3.4	96	6.9	6.7	0.1	6.0	6.0	0.0
	下	4.7	4.3	0.4	13.6	9.5	4.1	-1.1	0.2	-1.3	0.0	1.1	0	3.9	3.8	103	6.9	7.2	-0.3	6.1	6.6	-0.5
	平均	3.5	3.4	0.1	11.1	8.4	2.7	-1.5	-0.6	-0.9	0.0	2.3	0	3.0	3.4	87	6.9	6.9	0.0	5.9	6.1	-0.3
3月	上	5.6	5.7	-0.1	13.0	11.2	1.9	0.3	1.6	-1.3	45.0	24.9	181	27.1	37.9	72	7.7	7.9	-0.2	7.1	7.7	-0.5
	中	7.1	7.5	-0.5	13.6	13.3	0.3	2.3	2.6	-0.3	29.0	12.6	230	31.9	42.1	76	8.2	8.5	-0.4	7.9	8.4	-0.6
	下	11.3	8.1	3.2	17.8	13.6	4.2	6.1	3.4	2.7	10.5	19.1	55	47.4	45.7	104	10.0	9.5	0.5	10.6	9.6	1.0
	平均	8.0	7.1	0.9	14.8	12.7	2.1	2.9	2.5	0.4	84.5	56.6	149	35.5	41.9	85	8.6	8.6	0.0	8.5	8.6	0.0

畜産試験場（前橋市富士見町小暮・標高 350m）

※4月上旬の気象データ及び11月上旬の地温は機器のエラーにより欠測

※雨量の平均値は合計値を示す

※平年値は2006年度～2023年度の平均を示す。

令和6年度群馬県畜産試験場業務年報

---

発行 群馬県畜産試験場

〒371-0103 群馬県前橋市富士見町小暮 2425

TEL 027 (288) 2222

FAX 027 (288) 2243

<https://www.pref.gunma.jp> (県庁トップページ)

---

この冊子の製作費用は一部あたり 1,012 円です